



東陽の旋風 かぜ ～自律協働貢献～

令和7年3月25日（火）No 47 発行
文責：松本 卓也

すごく楽しかった！ずっと続けてほしい・・・

～東陽さくら祭りボランティアガイド～

23日（日）、道の駅「東陽」開駅4周年記念『東陽さくら祭り』が開催されました。今年は、「せせらぎ」20周年、「石匠館」30周年ということもあり、中学生ボランティアガイドを行いました。残念ながら桜はまだ咲いていませんが、天気は快晴、絶好のボランティアガイド日和です。

担当のN先生からは、①東陽町の魅力を伝えること、②自分から話しかけることの2つのミッションが与えられました。早速、会場内のお客様に案内開始！手持ちのフリップを使い、ガイドをアピールしました。受付には、小学5年生の未来のガイド候補も手伝ってくれました！道の駅「東陽」を出発し、重見橋・若宮神社・鍛冶屋下橋・橋本勘五郎の生家・石匠館のコースを計4回、8組18名の皆さまにガイドを行うことができました。宇土市からお越しのM様は、



（これまでガイドを受けた経験がなかったので）すごく楽しかったし、勉強になりました。東陽町は良いものも多く、魅力を発信するのは素敵なことです。石橋のことは全く知りませんでしたが、ガイドを受けて、さらに興味が湧きました。子どもたちも、見知らぬ人にガイドをする経験は、あとあと為になりますね。ずっと続けてほしいです。



と、嬉しい感想をいただきました。
ボランティアガイドリーダーのSさんからは、

自分たちで声をかけられたのはよかったです。3年生からは、「もっと大きな声で自分から話しかけてほしい。」とのアドバイスを頂いたので、次回に生かしていきたいと思います！

との言葉がありました。石橋や生姜だけでなく、自然や温かみのある人との繋がり等、東陽町には多くの魅力があります。ふるさと東陽の魅力をもっともっと発信できるよう、これからは子どもたちと共に取り組んでまいります。東陽まちづくり協議会の皆さま、このような機会を与えていただきありがとうございます。



【編集後記】保護者の皆様、地域の皆様へ

▼この1年間、本校の教育活動に対し、ご理解、ご協力をいただき、大変ありがとうございました。本日行った修了式の中で、TBSドラマ「御上先生」の最終話を引用して、「考える力とは、答えが出ない問いを投げ出さずに考え続ける力です。あなたたちの中の答えの出ない質問は、未来そのものです。そしてあなたたちが、苦しみの中で選び取る答えは、きっと弱者に寄り添うものになります。あなたなら出来ます。私はそれを信じています」という話をしました。▼ご家庭と学校が同じ方向を向き、「共に子どもを育てていく（共育）」の視点から、保護者の皆様に何かをお願いすることも多く、ご協力に本当に助けられました。「自律・協働・貢献」という学校教育方針に、ご理解とご支援をいただいたことに、心より感謝申し上げます。▼また、地域の皆様には、ゲストティーチャーや日々の見守り活動等、東陽中の子どもたちの健やかな育ちを支えてくださいました。大変、ありがとうございました。▼令和7年度も、“夢実現に向け未来を切り拓く東陽っ子の育成”に向け、全職員で導き、サポートしてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。▼4月8日（火）、希望に満ちた子どもたちに会えることを楽しみにしています。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）